



編集発行: 宝塚市人権・同和教育協議会

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号 宝塚市教育委員会 学校教育課 TEL:0797-77-2040 FAX:0797-71-1891

**お友だち**



**大好き**

**おとなもほっこり**

♪ハハハハハ〜



えっ、  
 知ってるの?  
 いっしょに歌おうか!

♪ハハハハハ〜



丸橋幼稚園の子どもつぶやきから

何か  
 いやな  
 ことが  
 あったん  
 かな?



空が大泣き  
 しているね

先生も  
 みんなも  
 いるけん  
 大丈夫やで、  
 泣かんときな



大丈夫?  
 ひとりだから  
 泣いてるの?

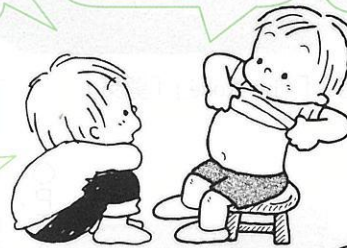


きのうのカミナ  
 リすこかったね。  
 おへそとられな  
 かった?



だいじょうぶ!

みんなの  
 おへそ  
 とられなくて  
 よかったね



ある  
 ある!



(池澤)

知っとう!! 3  
 このマーク

**みんなの理解と協力が広がりますように!**

☆障がいのある方を支援するマークや人にやさしいマークを紹介します。



補助犬マーク

身体障がい者が補助犬と  
 一緒に利用できる施設や  
 店に貼られています。



赤ちゃんの駅  
 外出時に赤ちゃんの  
 授乳やおしめ替えがで  
 きる施設です。



市民トイレ  
 どなたでも利用で  
 きる市民のための  
 トイレです。

(長瀬)

定期総会

定期総会に253名が集う！

2012年度の宝同協定期総会が去る5月22日にソリオホールで開催されました。253名のみなさんが出席され、近年では最多の出席者で盛況に開会できました。

オープニングでは、視力を失われても、人々に夢と希望を届けられている音楽家、前川裕美さんによるピアノ演奏と美しい歌声を聴かせていただきました。

引き続き、会長より総会宣言がなされ、新役員の選出と議案の全てが承認されました。

総会後、映画「桃香の自由帳」を鑑賞して閉会しました。

2012（平成24）年度 宝同協役員

役員名	名前	所属等
会長	わくありひこ 和久彦	
副会長	うめだみさこ 梅田美佐子	総務担当
	しまむらおとみ 島村富夫	研究担当
	くろだまさひで 黒田全英	啓発・広報担当
	おぎののり 荻野雅憲	会計担当
部長	おぎののり 荻野雅憲	学校教育部
	みとぐちひろかず 水戸口裕一	社会教育部
	なかにしきよすみ 中西清純	行政部
	おかもとまなぶ 岡本学	企業部
	つくにちえこ 津国千恵子	校区人権啓発部



曲目：「The Rose」「勇気」

前川 裕美さん プロフィール

小学校5年生のときに「網膜色素変性症」と診断され、徐々に視力・視野を失っていくが、高校卒業後、単身アメリカに渡りマサチューセッツ州ボストンにあるバークリー音楽大学で作曲・編曲・声楽・ピアノを学ぶ。

2009年2月株式会社 Grace Note を設立。代表取締役。宝塚市在住。

網膜色素変性症・・・視野が狭くなり視力も徐々に低下して、目が見えなくなってしまう病気です。

阪同教研究大会

7月28日(土)、第59回兵庫県人権・同和教育研究大会阪神地区大会が、川西市立川西小学校、川西市みつなホール、川西市男女共同参画センターで開催されました。宝同協から263名の参加があり、熱気溢れる大会となりました。また、この大会から高司中学校が、兵人教研究大会での発表に推薦されました。(宝同協から3年ぶり)

分科会の宝同協発表者は次の通りです。

○就学前教育 家庭地域との連携

「保護者との共同子育てを目指して 保護者理解を深めて

子どもの育ちを援助する」 宝塚市立めい保育所

○進路・学力保障 生きる力を育む

「生徒とのかかわりを通しての進路、学力保障

卒業生Aの事例」 宝塚市立高司中学校  
〈兵人教研究大会へ〉

「学力をつけるための学校の態勢づくり

学習に集中できる学校を目指して」 宝塚市立宝塚第一中学校

○多文化共生・いのち

「互いを認め合える学級・学校をめざして

IIAさんを迎えて」 宝塚市立光明小学校

OPTA活動と人権 子どもとともに

「みんなで話そう 未来のために IIきみに笑顔

スマイル フォーユー」

宝塚市立すみれが丘小学校PTA



めい保育所の報告



光明小の報告



高司中の報告



すみれが丘小PTAの報告

1994年11月27日、愛知県西尾市の中学二年生、大河内清輝（おおこうちきよてる）くんが自ら命を絶ちました。清輝くんの机の引き出しから出てきた便せん四枚に綴（つづ）られた遺書を新聞等で読み、多くの人々が涙しました。

「小学校六年生べらいからいじめられはじめて、中一になったらハードになって・・・なぜ、もっと早く死ななかったのかという家族の人が優しく接してくれたからです・・・たたかれたり、けられたりってつらいですね。」

それより先、1986年の東京で教師まで加わった「葬式（こく）」事件で自死した鹿川裕史（しかがわひろふみ）くんの遺書もたまらないものでした。

「僕だって、まだ死にたくない。だからこのままじゃ『生きろ』『く』になっちゃおうよ。」

それからもういじめと不幸な事件は続き、二十数年を経て今、大津市の中学生がいじめを苦にこれからの人生に終止符を打ちました。残された家族の苦しみに怒りの叫びが、全国に伝わっていきます。

それぞれの直後、有名人や教育学者

たちが、いじめは犯罪である、いじめに負けるな、信頼できる人もいる、まずは逃げよう、私もいじめられたが頑張った、などと励ましの言葉を投げかけています。いじめを受けている子どもたちにそれがどれだけの力になったか疑問です。ガンバってもガンバリきれない子どもたちに、頑張れのエールは辛（つら）くありません。

宝塚の子どもたちの中にも今、いじめに苦しんでいる子どもがいるはず。いじめは学校で起きています。どうか学校の先生、いじめられている子どもを助けてください。先生方はお忙しく、教育現場が大変なことを理解した上でお願いします。難しいこととは思いますが、子どもの中のを見てください、いじめられている子に寄り添ってください、いじめられている子や何もできないでいる子にも寄り添ってください。多くの大人たちも手を差しのべています、一番頼りたいのは、子どもを身近で教えてくれている先生です。どうぞ、いじめと不幸の起きることを止（と）めてください。切なるお願いです。

（和久）



### 校区人権啓発部の活動報告

#### 長尾台小学校区の取り組み

7月3日、宝塚市内で初の日本熊森（くまもり）協会“くまもり環境教育プログラム”を実施、4・5・6年生の児童・教職員・PTA・地域の住民など275名が参加、たいへん好評でした。

環境学習では実話にもとづいた紙芝居が上映されました。豊かな自然の森がスギやヒノキの人工林に変えられ、エサに困ったクマの親子が人里の柿を食べたら…というお話です。写真や展示をみながら自然の森と人工林の違い、森が植物と動物の協力で作られていることも学習しました。そのあと学年ごとに教室にわかれ、クマのお話を聞いたり、昔と今の暮らしを比べて森の大切さを考えたり、森の作る水がわたしたちの生活を支えていることを学びました。



《子どもたちの感想》 ○自然の大切さがよくわかった。 ○もっと自然が好きになった。 ○この長尾台の森をもっと大切にしたい！ ○森を汚さない！ ○動物たちを守れる大人になりたい！ ○大人になったら人工林を減らして自然の森を増やしたい！ ○私も子孫たちまで自然を壊さないようにしたい！ 残すようがんばります！

「森が減びると文明が減びる」と言われます。わたしたち大人も子どもたちの声に応えられるよう、日本の森の現状を学び、行動を起こす必要があると感じました。野生動物が住み、水がこんこんと湧（わ）くほんとうの森、豊かな自然を子どもたちに残しましょう！ 環境学習への参加は大人としての責任を考えるよい機会となりました。

（梅田）

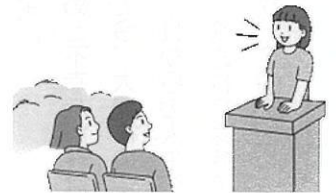
第2回宝同協研究大会「人権交流学びのつどい」のご案内

参加しましょう！

**日時** 2013（平成25）年1月19日（土） 13時30分～16時30分（受付 13時～）

**場所** 宝塚市立教育総合センター（宝塚市小浜1-2-1）

**内容**  
 ○日頃の生活の中での悩みや差別、人権の問題について考え合います。  
 ○お互いの立場を考えながら、自らの体験や意見を積極的に出し合います。  
 ○自分自身が今、出来ることを考え、共に生きる社会の実現を考え合います。



**日程** 全体会 13時30分～13時55分

- ・オープニング（出演者交渉中）
- ・宝同協より ごあいさつと「つどい」の説明

分科会（現在予定している分科会）14時～16時30分

- 第1分科会：子どもの人権と親の思い
- 第2分科会：人権教育について考える
- 第3分科会：障がいのある人と共に
- 第4分科会：部落差別について考える
- 第5分科会：阪神と東北との絆
- 第6分科会：外国にルーツをもつ子どもたちのために
- 第7分科会：働くということ 学ぶということ

☆分科会報告者を一部募っています！

推薦をお願いします。

下記事務局までお問い合わせください。（締切 11/9）

事務局：宝塚市教育委員会 学校教育課（人権担当）

TEL0797-77-2040

「学びのつどい」実行委員

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 島村富夫（委員長：副会長）  | 黒田全英（副会長）    |
| 梅田美佐子（副会長）     | 室崎俊洋（学校教育部）  |
| 荻野雅憲（副会長）      | 高野進（教育行政部）   |
| 中西清純（一般行政部）    | 谷添美也子（社会教育部） |
| 津国千恵子（校区人権啓発部） | 足立千代（社会教育部）  |
| 檀垣彰子（校区人権啓発部）  |              |
| 和久有彦（特別委員：会長）  |              |

編集後記

食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋・・・、秋にも色々あります。みなさんはどんな秋をお過ごしですか？

人権・同和も、「人権文化が薫る街づくり」のために秋から冬にかけて多くの催しが開催されます。みなさまの積極的な参加とご協力をお願いいたします。

さて、今年度も人権・同和に關係する取り組みやイベント、子どものつばやき等を広くご案内いたします。ご家族でお読みいただき、人権・同和について考えていただければ幸いです。

お知らせ

多数のご参加をお待ちしています！

- 解放文化祭
  - くらんど人権文化センター 10/25（木）～26（金）
  - まいたに人権文化センター 11/1（木）～2（金）
  - ひらい人権文化センター 11/9（金）～10（土）
- 平和特別講演会 11/3（土） 14時～ ソリオホール
- 全同教研究大会 12/1（土）～2（日） 岡山県倉敷市
- 人権を考える市民のつどい 12/6（木） 13時30分～ ソリオホール
- 宝同協研究大会「人権交流学びのつどい」 1/19（土） 13時30分～16時30分 教育総合センター

宝同協だより「芽生え」編集委員

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 黒田全英（委員長：副会長） | 西山勝己（学校教育部）    |
| 長瀬広和（学校教育部）   | 水戸口裕一（社会教育部）   |
| 池澤径子（一般行政部）   | 梅田美佐子（校区人権啓発部） |
| 大塚亜紀（企業部）     | 坂本三好（事務局）      |
| 和久有彦（特別委員：会長） |                |